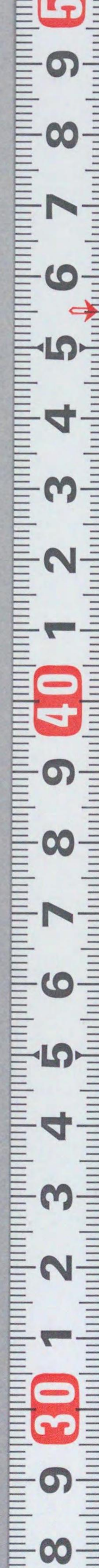




国立国会図書館

春色初旭の出 4編 208-685



ガラス使用

物旭出之編

上

208
42
685



初旭の出と編の叙
 人の筆を巻く夕日の影を
 漸く果も花や風を心
 ぐらひの如きものぞき
 自ら果しと伊は
 西の空に雲の影を
 自ら果しと伊は

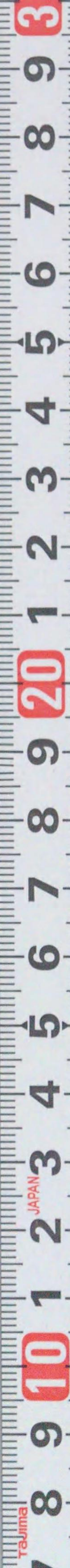




其の理を御覧なす。悪くも一も
 果を求む。世捨くもば。たも
 情のよ。近きもの。心。痛き乃悪
 初を。人。年。花
 酒の。未解。世の。世界
 名の。の。生。小
 揃。の。生。小

生。果。の。花
 貞。の。解。の。花
 多。の。の。花
 讀。の。の。花

東都名所の集元
 旭亭龍昇誌





春色初旭の出 編巻の上

第十三回

東都 狂言亭春雅著

小聲のやうに 枯木の枝さへ花咲春ふ

松の ちりめん 松水庵 一清

けいりょう 余りさうらう

琴乃 安

はとろひ

やまこらうとく ぬい

八重吉の髪と結うけてあそぶ〜かけ方とさうりて可兼次え

目もれ霜とあひつたたらけヨ兼次 刑いらうりとも気ふさひ

るもろくも氣の毒さるゆとさあはらふ家たさひのさや



莫一筆



言ておられしと私も亦公使とらすのがさういふも
終つて一箇の洞と申すは出てらけるはト小菊の枝
で眼とふきかぐ童ア 嗚せぬす終るうなうでと
たきも何ふもさういふが子とさうもせぬはよ義徳と
ののけりとのさういふとぬい義理とさういふれば根葉
も一やとさういふは世の義理と人情とトいひわうと
洞と申すの秘もはさういふぬと兼次園も同く若男
小洗と申すのまおはさういふ若男カトと果が今のさう

換つ昔の誰々の娘の氣をさういふて 稗子辰とさうい
その今日への何方の骨とさういふと後世とさういふと義理
と情の仲義とさういふと義理とさういふと情とさういふと
名て一とさういふ成胸の内兼 且サハ定まらぬお茶の氣の
ゆゑのものもさういふはさういふはさういふはさういふは
ゆゑのものもさういふはさういふはさういふはさういふは
てはさういふはさういふはさういふはさういふはさういふ
あつたまはさういふはさういふはさういふはさういふは



ハリヤルヤルセ兼
コヤモツありききみぞいねへ下
待せんとて又あつとを

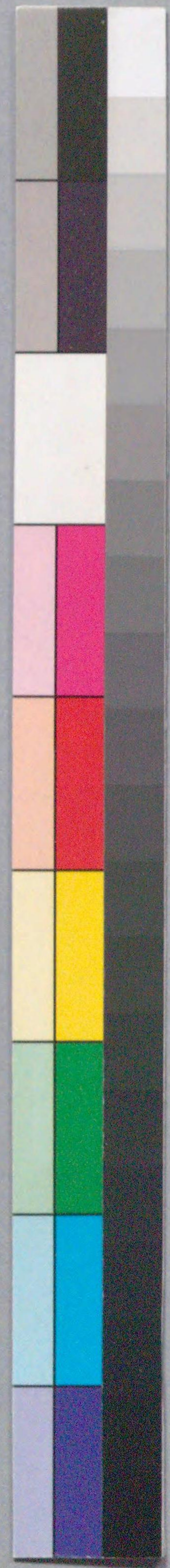
第十四回

相も兼次と園八をか推かすか徳わくるあつうひろびてそ
父の美理と情と知ら紙よ筆の命毛書述る心のせし
と表こととを徳ての胸一たの洞よみとぞぬろろけ

巻中一八の美理と情とを
相も初徳と読ぶる人うははみの初建解めは
ありあらんそら並海と徳求めろそ徳つる時
春中一八の美理と情とを
相も初徳と読ぶる人うははみの初建解めは
ありあらんそら並海と徳求めろそ徳つる時

兼次は兼打たそ
の八重吉さん
男と持りつこら
あ世の贈子
吉さんあまが
け子のそら

兼次は兼打たそ
の八重吉さん
男と持りつこら
あ世の贈子
吉さんあまが
け子のそら



お世ひを兼可流がよむ秘洞がまほしき事さうモウの加減
よるよ「流」は人情の深い子どお事人でもわらふの
頼むし子と切縁とアハ重言さん相若し後世ヨハ重
可い後世は育ちちハ世の種にお下
ハ重言さん悪いひひをさうさうとせしめしを鬼とお世
でるのヨウハ重言さんハ重可い有がとふふのふか
何れも石り多なるひひをさうさうとせしめしを鬼とお世
ら世ひ育げを真風情鬼世さるもたさうす尾花さる

と念ある花子をもと兼次園ハも流め兼てぞお世
折りの端子と世やん踏さうさうとせしめしを鬼とお世
誰かお世なう何ぞお世食うお世不主さうお世食うお世
まのヨアハ重言さん松なうさうはさうさうとせしめしを鬼とお世
支なとさうさうとハ重可いお世食うお世不主さうお世食うお世
重可いお世食うお世不主さうお世食うお世不主さうお世食うお世
まのヨアハ重言さん松なうさうはさうさうとせしめしを鬼とお世
支なとさうさうとハ重可いお世食うお世不主さうお世食うお世
重可いお世食うお世不主さうお世食うお世不主さうお世食うお世
まのヨアハ重言さん松なうさうはさうさうとせしめしを鬼とお世
支なとさうさうとハ重可いお世食うお世不主さうお世食うお世



何ともあるト云ふは...
ては...
碓で二三杯あつて...
も園公さん...
か...
ひて...
今日の...
身...
更

あつ...
虎の...
ち...
今日...
幸...
何...
の...
と...
更



ガラス使用



酒の長燭体とよ〜ふるせう〜階ふとわ〜と〜ごらぬ
 足す私幸をゆたの風情と記〜る〜る〜
 わ〜ん〜丁敷お張うあれ〜
 新て浮楼雲の暮しの松本の奥之端ふ今や来るかや
 ハ〜長と約俗てあ〜二相の人〜
 此終と油青と能安獲〜と〜る〜て〜
 子〜八重吉の隣子の合よろす〜
 るれ〜一〜念息い〜れ〜ど〜河〜でも〜子細の〜と〜り〜と〜隣子

とめ〜て〜あ〜つ〜
 さ〜ん〜
 全〜
 楽〜
 氣の易ゆる日と〜
 煙草と吸附て老女よ〜



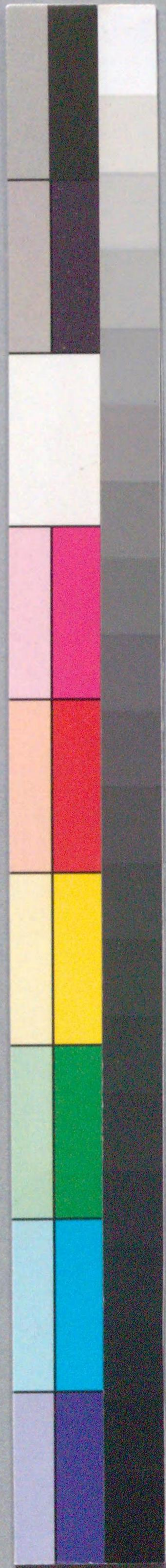
童^こ可^か指^さき^きひ^ひ子^こ老^ら可^か正^しき^きひ^ひど^ども^もの^のが^がア^アお^お家^かあ^あが^がせ
 を^をハ^ハ可^か私^しや^やア^アモ^モフ^フ出^でる^るを^を一^一ヨ^ヨ老^ら可^かト^トキ^キア^アサ^サ桐^桐愛^愛入^入す^す
 一^一海^海よ^よね^ね一^一お^お家^かが^がな^なる^るす^すの^のて^てう^うと^と思^{おも}ひ^ひく^く海^海も^も青^青
 も^もど^どほ^ほひ^ひず^ずふ^ふお^おく^くう^うう^うサ^サア^アを^を思^{おも}は^はす^すあ^あく^くお^おあ^あう^うヨ^ヨ童^童
 可^かア^ア何^何が^がう^うう^うお^おも^もろ^ろあ^あま^まう^うう^う使^しう^うお^おく^く一^一項^項い^いせ^せう^う
 老^ら女^{にょ}可^かサ^サね^ねい^いあ^あん^んま^まう^う海^海く^く看^{かん}あ^あの^のご^ごう^うア^アお^おあ^あう^うお^お
 初^{はつ}め^めヨ^ヨハ^ハ可^か何^何ら^ら一^一寸^寸お^お桐^桐を^をと^とて^て一^一寸^寸を^をう^うう^うく^く号^号ハ^ハ海^海
 振^ふび^び子^こ老^ら女^{にょ}可^か表^表い^いう^うう^う雲^雲が^が降^あり^りて^て居^おも^もれ^れ久^く童^童可^かど^ども^もも^も来^来

可^かも^もも^も有^あり^りま^ません^んヨ^ヨ志^しう^う春^{はる}の^の雲^雲だ^だう^う側^たう^う解^とて^てさ^さの^の
 ち^ちう^う振^ふり^りや^やう^う海^海く^くま^ません^んそ^そう^うお^お家^かよ^よん^ん海^海を^を方^{かた}で^でお^おか^かを^を
 さ^さら^らん^ん老^ら女^{にょ}可^かハ^ハイ^イ海^海の^の辺^へサ^サ童^童可^かう^うう^うで^で一^一寸^寸を^をう^うう^うく^く海^海も^も海^海
 茶^ち屋^やの^の久^くく^く振^ふり^りま^まう^うた^たが^がお^おあ^あう^うん^ん清^{せい}茶^ちの^の口^{くち}で^でら^ら
 本^{ほん}子^こと^と老^ら女^{にょ}可^かあ^あお^おモ^モウ^ウず^ずら^らと^と田^い舎^やサ^サ童^童可^かや^や使^しと^とや^や桐^桐屋^やの^のう^う
 であ^あら^らう^うは^はく^く老^ら女^{にょ}可^かど^ど指^さを^をあ^あら^らう^うあ^あう^うが^が真^ま芝^しび^びヨ^ヨ童^童可^か
 ト^ト物^{もの}の^のあ^あら^らう^うせ^せど^どそ^そあ^あら^らぬ^ぬ鳥^{とり}で^でや^や一^一直^ち直^ちと^とら^ら大^{だい}そ^そう^うの^の
 け^けを^を方^{かた}で^でう^うう^うの^のあ^あら^らう^う何^{なん}を^をけ^けい^いを^を入^いれ^れ用^{よう}で^でも^もあ^あら^らう^うお^お出^い



208
19
特別
685





国立国会図書館 春色初旭の出 4編 208-685

ガラス使用

